

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和6年 3月 4日

コミュニティ名	ALLWEL
代表者所属名	城陽市立富野小学校
代表者職・氏名	教諭 竹村 祐希

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

ALLWEL

2 研究テーマ

認知能力と非認知能力を一体で育む国語教育の実現

3 研究の目的

本コミュニティの目的は、教員の「学びたい気持ち」を核として、子どもの資質・能力の向上を図るため、いつでも目の前の子ども達に寄り添い、共に研究をし続けることにより、参加教員の資質・能力の向上を図ることである。

学習指導要領及び第2期の京都府教育振興プランの理解を深めることはもちろん、すべての子どもを大切にする教育を実践することにより、同和教育の成果と手法を具現化する。国語科の授業を中心に、目の前の子どもたちの実際の学んでいる姿や今日的課題を踏まえて、学ぶ意義を実感できる実践を創造し、道徳教育の充実を図ることにより、認知能力と非認知能力の一体的な育成の授業づくりにつなげる。

また、学んだことを学校や学級の実態に応じて工夫して実践するだけでなく、結果を共有し、研修で学んだことをさらに深めた交流を行うことで、参加教員の資質・能力を相互に高め、常に研鑽し続ける姿勢を涵養していくと共に、様々な課題を自ら解決していこうとする教員を目指す。

4 研究の成果と課題

2017年に「近隣で働く教職員と共に学びたい、悩みを共有したい、繋がりたい」という思いから、当時同じ思いを持っていた教職員と一緒に発足に至り、様々なテーマや課題で研究をすることとおして、コミュニティの構築と教科の専門性を高めることができた。
今後、学びの幅を広げることや研究をさらに深めるためには、学校間で壁を越えた公開授業や実践者による研究会の実施が求められる。

5 研究成果の波及方法

事前研及び事後研を含む公開授業や研修会の実施
参加教員の学校にて研究成果の広報

6 研究（活動）実績

年月日	研究（活動）内容（具体的に記入）	活動場所
	別紙参照	

別紙1 活動記録

	日付 令和5年度	テーマ	内容	場所
82回	4.14	新学期の教材 分析 国語	発問と単元目標をリンクさせる。 書かせたい振り返りのテーマを指定することで書きやすくなる。	福祉センター
83	5.17	学級経営	学級経営計画シートを作成した。 自分の目指す学級や、学期ごとに短期長期のゴールを決めて、自分がすべきことを考えることができた。	福祉センター
84	6.10-11	筑波大学附属 小学校研究発表会	先進校の授業の参観（オンライン）から、 目ざす教育のあり方や子供の姿について学んだ。	福祉センター
85	6.16	道徳講義	講師：城陽市立東城陽中学校村田寿美子先生 「銀の燭台」を中心にご講義をいただいた。道徳の教材研究のコツ、発問作りのコツ、授業後への返し方などを学んだ。	福祉センター
86	7.31 13:00—	道徳教材研究 図工教材研究	道徳では「子どもの頃心を揺さぶる発問作り」について実践演習を中心に、内容項目を達成することに重きを置きながら自分の中の幅を広げることができた。 図工では、二学期に作成する絵画について、技法や構図など、演習を中心に交流を行った。	城陽市立今池小学校
87	8.17 18:00—	主体的な評価 学びのパスポート分析	主体的な評価について「どのようにみとめるのか」、「みとるための効果的な単元計画」について学んだ、 過日行われた「学びのパスポート」について、認知能力と非認知能力の一体化し、学びのパスポートを生かした授業作り、学校として取り組むにはどうすれば良いかを考えた。	福祉センター
88	9.8 18:30—	国語教材研究 「ありの行列」	光村三年生説明文教材「ありの行列」の教材研究を行なった。説明文の指導につき大事にしていることを交流した。ありの行列を例に、単元計画、主発問を考えた。指導目標の在り方や達成方法を確認し学年間の	福祉センター

			縦のつながりを意識して単元を構想する必要性を学んだ。	
89	10.25 18:30—	国語教材研究 「プラタナスの木」	公開授業に向けて、4年生「プラタナスの木」の単元計画と指導構想を練った。ファンタジー要素がありながらも、叙述から離れずに読みを深めさせる問いを考えた。	城陽市立久津川小学校
90	9.21	公開授業 深谷小学校 松本 明子	6年生「やまなし」の公開授業。題名について考える授業だった。中盤に「5月は必要かどうか」を入れることで、考えに深まりが生まれ、さらにめあてに迫ることができた。	城陽市立深谷小学校
91	9.25	公開授業 山田荘小学校 角田 啓介	6年生「鳥獣戯画を読む」の公開授業。子供が自分たちの問いや疑問をもとに、叙述を根拠に読み深めて行く姿が見られた。	精華町立山田荘小学校
92	10.25	公開授業 今池小学校 岡 結子	6年生「やまなし」の公開授業。児童がしたくなる仕掛けから	城陽市立今池小学校
93	10.25	勉強会	4年生「プラタナスの木」の教材研究。単元計画、指導上のポイント、各校の児童の実態の交流や進めかたなど。	福祉センター
94	11.20	公開授業 今池小学校 松島 聖奈	4年生「プラタナスの木」の公開授業。心情の変化を捉える授業を行なった。授業者の意図が明確に感じられた。いろいろな実態の児童がいる中で、児童に預けて任せる時間の大切さを学んだ。	城陽市立今池小学校
95	10.13	公開授業 今池小学校 榎本 裕	1年生「くじらぐも」の公開授業。叙述を元に読解の基礎を養う児童の姿が見られた。繰り返されている表現に着目し、読みを深めていた。	城陽市立今池小学校
96	11.17	公開授業 久津川小学校 永井 友浩	4年生「プラタナスの木」の公開授業。伏線回収型の授業だった。登場人物の変容から意図的な指名を行っていた。事前のノートや板書から自動の思考の流れを把握し、展開していた。	城陽市立久津川小学校
97	11.15	実践報告	それぞれが行ってきた研究授業で学んだことや、深めたことの交流をおこなった。残りの2学期の過ごし方と3学期に取り組む内容整理をした。	福祉センター

98	12.8 18:30—	国語教材研究 「来年度から 使われる教科 書」	来年度から始まる教科書改訂について、新たに増えた教材から一つ選び、教材研究を行なった。横のつながり、縦のつながりを意識しながら行うことで、より深く教材把握ができた。	福祉センタ ー
99	12.9 13:00—	国語オンライ ン 「白石	光村6年生「メディアと人間社会」の模擬授業や教材解説を視聴した。説明文教材の分析の方法や、発問一つで子供の思考が深まったり揺さぶられたりすることを学んだ。	福祉センタ ー
100 回	令和6年 1.19 18:30—	国語教材研究 「海の命」	光村6年生「海の命」の教材研究を行った。主人公の人物像を把握し、単元構想を考える中で、指導目標を達成するための手法や展開の方法について交流を行った。	福祉センタ ー
101	1.26	公開授業 富野小学校 竹村 祐希	光村3年生「アリの行列」 発問から子どもたちが学び合う様子が見られた。子供達が話す時間と、一斉で深めるタイミングの難しさを話し合った。発問のタイミングの重要性を感じた。	城陽市立富 野小学校
102	2.2	標準学力調査 テスト分析会	標準学力調査の分析を行なった。自分の学級の実態把握と改善に向けての取組、学校の3年計画を立てて視野を広げた。学校の現状や子供達の様子、変化を見通しながら話し合った。	福祉センタ ー
103	2.10-11	筑波大学附属 小学校研究発 表会への参加	先進校の授業参観から、自身の日々の授業をふりかえったり、新しい実践へのアイデアが見つかったりした。	筑波大学附 属小学校
104	3.14	本年度の振り 返り	成果と課題を出し、来年度の展望ややってみたいことを共有した。来年度の計画の略案を立てた	福祉センタ ー